

私は町田市相原町にある丸山団地に住むサラリーマンZである。

2022年12月某日月曜日、私は通常通り新宿にある会社で激務をこなしていた。昼食には〇〇定食をいただいた。

午後からは得意先にシステム提案予定だ。そろそろ出かける準備でもと立ち上がった。その時ドンという音とともに足元が揺らいた。

「地震か？」と感じた瞬間、強烈な揺れが襲った。スマホからの異常音が鳴り響くなか、床に突っ伏し長く強烈な揺れをやり過ごした。5分程揺れが続いたように感じた。天井材、棚の物が落下し、壁は大きくひび割れ、室内灯は消えていた。建物はなんとか建っているが・・・

多くの窓は破砕し、窓側の同僚の中には大量に出血している者もいるようだ。

大地震か・・・ 怪我人を手当てしつつ情報収集を・・・

避難するか？いや屋外は大変な惨状だ。各所で黒煙があがっている。火災だ！

道路は亀裂が入り、車が大渋滞、事故発生中。電柱が倒れ電線が垂れ下がる。

スマホから電話してみる・・・不通だ。通常の電話も不通だ。ネットは・・・接続不可。TVは停電で映らない。

どうする・・・ 緊急セットにラジオがあるか・・・

スイッチを入れるとなんとか放送を受信できた。

巨大地震発生。震源は相模湾、最大震度7、各所で火災発生。下町の堤防が決壊。浸水が始まっている。

JR各線、私鉄各線とも不通。空港も閉鎖とのことだ。

部下を屋外確認にいかせる。階段はなんとか使用可能だった。

10階建てのビルだが、比較的新しいビルだったのが幸いした。

社内に緊急用備蓄品が用意してあったので、水と食料は数日なら何とかなるかも。

とりあえず無事な部下に近所の個人商店まで買い物にいかせる。

水と食料を確保するために。（コンビニや大手はPOSレジ使用不能により販売できない／販売準備まで時間がかかる）

だが外部との連絡が取れない。

会社のサーバーは無停電電源装置により動作しているが、ハードディスクは飛んだだろう。

停電と回線切断でネット使用不可のようだ。

スマホは電話、ネットとも不通だ。家族が心配だが連絡手段が無い・・・

妻は無事なのか・・・

家に帰ることはできるのか？

【そのころ丸山団地では・・・】

私の妻Aはこの日、たまたま休みだった。有給消化のため月曜日を休みにし連休とチャレこんでいた。旦那と子供を送り出し、のんびり過ごしていた。

昼食も終わり、ネットでも見るか・・・

スマホと防災無線から異音が・・・

その時グラッとした気がした。直後強烈な揺れを感じた。

床にへたりこみながら、なんとかダイニングテーブルの下に潜り込んだ。

ゴー〜！、ガシャン、ベキベキ・・・

棚が倒れ、食器が割れ、石膏ボードに亀裂が・・・

5分程揺れた気がした。部屋の中は色々な物が散乱し酷い状態だった。

ようやく気を取り直し、どうすれば良いか考えた。

子供は無時か？旦那は？

火の用心・・・ガスは使っていなかった。

妻A宅ではプロパンガスだ。都市ガスは非常時に不安があるので切り替えをしていない。

後で機能復旧しなくては・・・

スマホは全機能喪失！ 一般加入回線（電話）も通じない。

停電でTVは使用不能。ケーブルTVだが回線も切断されているだろう。

とりあえず非常用グッズを探す。ラジオがある・・・電池を装着しラジオのスイッチを入れた。

「相模湾にて大地震発生！！！」「最大震度7、東京湾岸、、、相模湾付近、、、町田市震度6強、、、津波発生」

外から人の声がする。近所はどうなっているのか・・・玄関の戸はなんとか開いた。

すると1階が潰れた前の家が・・・擁壁も崩れている。大谷石だからなあ・・・

「無時ですか？」隣のB家の方から声がかかった。「無事でした。」

「黄色いタオルを・・・」の声も！そういえば無事なら黄色いタオルを掲示しておくんだった」

探したが見つからず、ピンクのタオルで代替えした。

潰れた前の家に人はいるのか？昼間は通常留守にしているようなのでスルーした。

周りを見まわすと相当数の電柱が折れ傾いている。全壊、半壊した様子の家もかなりあるようだ。

妻Aはふと思った。「そういえばうちは理事だった」

理事役の旦那は会社だ。無事だとしても直ぐには戻れそうもない。

子供はどうなったのか？と思いながらとりあえず班長宅に行ってみた。

班長は仕事で外出中だった。奥さんのR子さんが在宅だった。

相談の上、別の理事を探すことにした。倒れた電柱や電線に注意しながら理事、班長宅をまわった。

だが不在が多く、ようやく会館管理の理事と出会えた。会館管理の理事は怪我をしていた。

家具の下敷きになりようやく這い出してきたのだ。

ここでも相談の上、過去に自治会長をやったこともあるKさんの家に行ってみることにした。

Kさんは無事で、なんとか動けそうだ。現会長、理事の大半は不在（仕事で外出し帰宅困難）でありKさんに会長代行を依頼した。各所の鍵を探してほしいとのことで一旦帰宅した。

妻Aの旦那は渉外の理事だった。会館は会館管理理事が鍵を持っていたが、

その他の倉庫などの鍵は三役が持っているらしい。

とりあえず動ける格好に着替え、鍵を探し、非常持ち出しをザックに詰め、待ち合わせ場所の自治会館へ向かった。

自治会館は傾き、ガラスは割れ使える状態ではなかった。

会長代行が「スポーツ広場に移動しよう」と声をかけられ移動した。途中で住民に声をかけながら。

スポーツ広場に移動すると、山が一部崩壊していたが、何とか使用できそうだった。
コンテナ、物置を開錠し、テント等を設営。現状把握から実施した。

避難所である小学校へ状況確認のため2名行かせる。避難所になりそうな中学校、堺支所に2名。
他の町会（丸山、中村）、相原駅方面へも。

そうこうしていると倒壊した家の下敷きになっている人がいるので救助に来てほしい、○班の家で煙が出ているとの情報がはいる。

上水道は出ない。下水もポンプが止まっているようだ。電話も不通。ネットも不通。相原各所で火災発生。△班で重傷者が。

各所で電柱が倒壊し、電線も破断。道路は各所で段差、亀裂が入り通行困難。車両通行不能。
てんでやま方面で崖崩れ通行止め、パンダ公園付近は液状化している…等。

班長の過半数は不在。理事は大半が不在。当然連絡不能。
まずは火災対応と怪我人の搬送か。

臨時火災対応班を結成し、火災現場へ急行する。倒壊した家の太陽光パネルが損壊し、ショートしているようだ。

対応策は???。発火したパネルを消火器で消火したが、発電は続いている。また発火するだろう。
消火班についていてもらい、遮光する部材を倒壊した家から引き剥がしてもらおうことにした。
幸いその他の火災発生は無いようだ。

救助班も結成。団地内の応急救助にあたることとした。
とりあえず無事な人達で対応していくしかない。

小学校へ確認に行った者から報告が入る。

「体育館崩壊により死傷者発生。校舎ひび割れ多数、天井材崩落、ガラス破損多数。」

「怪我人数多数発生。町田街道不通箇所多発にて救急車はこれず。丸山地区、中村地区他、数件の火災発生中。消防車もこれず。」

「児童生徒にも死傷者発生。」

「損傷軽微な教室は児童生徒の避難所として対応中。」

「現在小学校に医者是不在。保険室の先生が対応中。」

「境川の岸壁が一部崩落。川が堰き止められている。町田街道へ浸水の恐れあり」

「橋本方面で大火災発生中の模様。」

「小学校校庭は浸水の恐れあり、相原中央公園へ避難するが、道路擁壁の崩壊＋電柱倒壊により、車での通行は困難で、人のみ避難可能。」

怪我人を救護所に搬送したい。軽症者は徒歩で。問題は歩行困難者をどうするのか？

子供のことも心配だ。死傷者が出ているとことで更に不安が募る。

妻Aは、怪我人数人を引き連れ、取敢えず小学校に向かうこととした。

道路は所々20cm程の段差があり、電柱も倒れ、電線も邪魔をする。一部ブロック塀や大谷石も崩壊している。

車が通行できるまで何日かかるやら・・・

諏訪神社の脇も崩れている。大木も何本か傾いている。

小学校に向かう道路までくると多くの避難者が歩いている。

この先どうなるんだろう・・・

「ガガガッ」早速ミニユンボが電柱を排除していた。建築会社の人が作業協力しているようだ。

小学校までくると、避難は「相原中央公園」に行くように段ボールに書かれた案内板があり、それに従った。

体育館は見事に崩壊していた。

一緒に避難した怪我人のうち軽症者は公園に。

中傷、骨折？とみられる人は、小学校校舎へ。○△医院の医者が到着していてトリアージ、治療を行っているようだ。

妻Aは、5年生の娘の安否を確認しに教室を見に行った。学校の先生に被災状況を確認した。

体育館では体育館で授業を行っていた3年児童数名と先生が、鉄骨と屋根材の下敷きになり死傷し、現在も救助中。

その他教室ではガラスや屋根材等により軽症者多数とのこと。

旧校舎（神社道路側）の校舎は多数の亀裂が入り、屋根材も崩落箇所多数。ガラス損傷多数。

トイレも溢れ初めているようだ。プールの水で流すらしい。

5年生が集まっている部屋を聞き出し、娘のところへ。

無時だった。「よかった、一安心！」

腕に擦り傷を負っているようだ。天井材が落下した際にかすったようだった。

一先ず引取ることとし、団地の友人と共に家に向かった。

町田街道の様子を確認しておく。岸壁が一部崩落し、堰き止められた水が溢れはじめてきている。

消防団らしき人が状況を確認している。電話連絡は出来ないので、車庫の消防車の無線で連絡を取るようだ。

町田街道は車が停車し、溢れていた。消防団らしき人が拡声器で川の越水を伝え始めた。大混乱だ！ミニユンボで倒壊した電柱を引き続き排除していた。ミニユンボでは効率が悪いが、少しずつではあるが片付いているようだった。

子供の友人を引渡し、家に帰り子供の擦り傷の手当をした。

ラジオで情報を得る・・・

中央道、東名高速通行止め。一部高架区間崩落。盛り土崩落。

甲州街道、国道、都道多数通行止め・・・

横浜線、八高線、中央線、京王線、小田急線、西武線・・・不通。

高架亀裂発生、停電、信号線破断・・・

各種電話全て不通。ネット不通。旦那とは連絡取れず安否不明・・・

安否確認サイトなんか意味無し・・・！

子供と状況を確認し、夜の準備を行う。

ローソク＋懐中電灯＋電池＋水＋カセットコンロ＋カセットガス＋食料・・・

その時、またグラッときた。ゴゴゴゴゴゴ・・・余震だ！

震度5くらいか。

玄関の扉を開けておくことにした。開かなくなったら困るので・・・

でも寒いし、虫が・・・

大きめのカーテンを外してきて玄関に取り付けた。

前の家が倒壊しているので怖いけど、子供と話し合い、今夜どうするのかアバウトに決めておく。

懐中電灯と自治会のヘルメット等を持ち、広場へ。

小学校と避難所の様子を報告。

重傷者をどうするのか？

救急車は当面来ないので、小学校の医者の所に運ぶしか手がない。

団地のリアカーは幅が広く通れない箇所がある。勾配もきつい。道路の段差も無理そう。

そこで原付スクーター数台を出してもらい、リレー方式で運ぶことにした。

2人乗りは禁止だが、非常時だ。かまってもらえない。

取敢えず段差があるところまで搬送し、そこで別のスクーターに乗り換えてもらう。

スクーターに乗れない重症者は担架にて搬送することにした。担架1台に8人は必要だ。

団地の空リアカーを神社－小学校の道までなんとか下ろし、担架から移して搬送した。

ミニユニボのおかげで何とか通行できた。段差は持参した合板を敷いた。

丸山団地に住むサラリーマンZは会社から帰宅することとした。

ラジオ等では「無理に帰宅しない、残りなさい」等と放送しているが、そんなことに従うつもりは無い。

少しでも早く妻Aと子供の所へ・・・

丸山団地理事だしなあ・・・

しかしどうやって帰るのか？

交通機関は全滅だ・・・ 歩くしかない・・・

いやいや、自転車だ！ 会社に2台あるではないか。

今のうちにゲットしておくか・・・そうもいかんか。

自転車屋に買いに行こう！ 急げ！

店主を説得し、自転車をゲット！！ 財布に現金がなくてラッキーでした。

停電でATMもクレジットカードも使用できないだろう。

ついでにパンク修理キットも購入。

会社は早々に退社し、家に向かう。

ざっくり50km程度かな？明日の午前中までに着ければよしとするか。

甲州街道は、高速が崩落しているようなので、方南通りから通れる道を選んで行くしかない。

こんな時自転車はありがたい。細い道路でも通ることが可能だ。でも道には色々な物が転がっていて、注意しないとパンクするぞ～！

妻Aは、会長代行をサポートしながら、負傷者救護、搬送。水、食料配布。死者の安置まで交代しながら行う。

小学校への避難については結局個人判断で都度となった。

自宅の状況によってどうしても分かれるよね。

1. 自宅全壊、半壊、家屋傾斜、火災、その他問題で住めない人。
2. 余震のため避難したい人。（大きな余震があると家屋にいと危険と判断した人）
3. 避難所でボランティアしたい人
4. 負傷者（重中症者）
5. 自宅が損害軽微でそのまま自宅にいる人。
6. 親戚、知人が近場にて損害軽微なため、そこに一時避難する人。
7. 会社が近場で損害も軽微なため、そこに寝泊まりを希望する人。

でも避難所には問題点も多々あるようだ。

1. 体育館は倒壊しており、使用できない。
2. 校庭は境川の浸水で使用できない。
3. 旧校舎は亀裂が多数発生し、窓ガラスも損壊、天井材も崩落。使用できない。
4. 児童が残留しており避難する教室が足りない。
5. 中央公園は避難宿泊可能な建物が少なく、テント数も足りない。
6. 12月の寒さに毛布などの防寒具が不足している。

中学校や支所方面の状況報告が入った。

1. 中学校校舎は亀裂多数、天井材落下等発生。
2. 体育館は無時だが、屋上プール亀裂から漏水し、使用できない。
3. 中学校の上流で境川岸壁が崩壊し、水が少し溜まっている。
4. 中学校付近の岸壁も崩壊。水は抜けているが校庭は危険だ。
5. 生徒が残留しているため、避難可能な教室は限られる。中軽症者が発生。
6. 横浜線不通。橋本方面のカーブで列車脱線。
7. 神奈川県方面へ抜ける橋も複数崩落している。
8. 火災は複数個所で発生、延焼中。消防は対応できていない。
9. 堺支所も同様に境川岸壁が複数個所崩壊している。
10. 堺支所は、ホールに避難できるが、今後の状況（余震等）により浸水の恐れ有。
11. 境川の浸水は、横浜線の手前（中村付近）で川に戻っている。
12. 主要道路が通行不能であり、当面救援（消防、救急、警察、水、食料等）は来ない。
13. 自衛隊に支援依頼をしているようだが、広域災害のため支援の時期は未定。

情報を書出し、掲示することにした。

また、歩行可能者で避難を希望する人は、ある程度まとまって避難してもらうこととした。

その際、持てるだけの水と防寒具、食料を持参してもらう。どこに避難するか可能な限り自宅前に掲示してもらう。自宅に残る人たちには、「火の用心」を特に心がけてもらう。

ブレーカーは必ず切断！！

太陽光パネル火災は遮光が完了し、一息ついた。
あたりは暗くなり始めた。発電機を稼働させライトを点灯した。
充電可能のようにタップ等も用意した。どうせしばらくはスマホは不通であろう。
非常用ライト関係が充電できれば良しとする。
あとは個別に会長代行宅、理事代行宅を訪問相談してもらうことにした。
その為の張り紙を行い、会長代行、理事代行の自治会臨時対応は本日終了。

妻Aは、自宅に戻り、非常用ライトを点灯。片付けを始めた。本、置物、食器等が散乱している。
一先ず箒で隅に追いやる。明るくなったら再開しよう。今日の食事はどうしようか？ カセットコンロを用意した。米を鍋で炊き、レトルトのカレーでいいや。TVもネットも無い暗い夜を迎えることになった。旦那はどうなったのかしら？無時だといいなあ。。子供と情報交換？をして気を紛らわす。

サラリーマンZは、そのころ自転車をひたすら漕いでいた。やっと調布まできたか。まだまだ遠いなあ・・・

倒壊した家、電柱、電線、落下物、車を避けながらではなかなか進まない。
この先玉川の橋を渡る必要がある。どの橋を使うか・・・
甲州街道は車道、歩道とも狭い。危険だ。
このまま東八道路を進み日野バイパス方面へぬけるかな。
ちょうど交通整理をしていた警官達がいる。彼らから情報を得ましょうか。
日野バイパス、四谷橋、関戸橋とも歩行者通行は可能なようだ。
主要道は交通規制がかかり自動車通行禁止である。でも通行中だった車が各所で渋滞中だ。
道路は亀裂、段差が各所で発生。火災や事故も。人や自転車ならなんとかなる。

途中のスーパーが開いている。非常時販売を実施しているぞ。
取敢えず水と食料を仕入れた。ありがたい。発電機の明かりの下でタイヤを点検し出発。
車がいないと真っ暗だ。パンクしたら最悪だ。

やっとのことで鏈水までたどり着いた。でも16号がやばい。ガタガタで段差が各所に。
歩道も狭い。ここは押して行くか・・・ 途中道路端が崩れていたが、なんとか通れた。
町田街道も倒壊した電柱がじゃまで通れない。放置された車もある。
中学校まで来ると警察やら消防の他大勢が集まっていた。
境川がやばいらしい。岸壁が崩壊し川の水が溢れているようだ。踏切の高尾側は浸水し通れないようだ。
相原駅へ迂回し、階段を自転車担いで渡る。駅西口も浸水している。神社上に抜ける道も途中崩落しているようだ。崩落箇所を無理やり通り抜け、なんとか丸山団地に到着した。

家は・・・ 建っていた。前の家は倒壊しているが、暗くてよく見えない。
自宅からぼんやりした明かりが揺らいでいる。
「只今」「おかえり！」

明日からがまた大変だ！今日は非常に疲れた。
休むことにしよう。
「終」

災害について

1. どのような災害があるか？

- ①地震
- ②水害
- ③土砂崩れ
- ④暴風、竜巻
- ⑤通常火災

①地震

- 1. 家屋倒壊
- 2. 家屋傾斜
- 3. 擁壁崩壊、擁壁ひび割れ
- 4. 家屋ひび割れ、一部損壊
- 5. 道路寸断
- 6. 土砂崩れ
- 7. 火災（同時多発、個別火災）
- 8. 停電、漏電
- 9. 上水道停止（停電、配管損傷、浄水場破壊）
- 10. 下水道停止（停電、配管損傷、処理場破壊）
- 11. 河川氾濫（堤防決壊、橋梁崩落等）
- 12. 道路構造物破損（電柱、信号、陸橋、橋梁、舗装）
- 13. 液状化（パンダ公園付近は谷戸だった。つまり湿地。以前は田圃でした。）
- 14. 通信異常（基地局の設備損壊、回線切断、通信集中による機能停止等）
- 00. ※その他

【個人考察など】

耐震建築はそれなりに進んでいるが、震度6で倒壊しない程度が多く、そのまま住める訳ではない。原発も震度6で壊れる。原発格納容器や配管も震度6（弱～強）で壊れる。これは設計強度「加速度＝ガル」が震度6中程度なので壊れます。（実際壊れています。）

避難所である相原小学校は、耐震補強（鉄骨によるブレス等で補強）はしているが、建築年度が古く構造体（鉄筋コンクリート）が持たない可能性が高いと推察。体育館も同じく建築年度が古く、校舎同様もたないと推察。特に体育館は、震度6強で倒壊する恐れがあります。

また、境川の堤防や橋梁、擁壁崩壊により水が溢れ学校周辺が水没する恐れもある。

そもそも避難所に退避するとすれば震度6以上の地震が発生し、自宅が損壊した場合であろう。自治会館も震度6程度で損壊します。震度6弱ですと少し傾く程度で済むかもしれませんが、梁が継いであること。また基礎に亀裂が見られること。窓が大きいこと等から、耐震強度は低いと感じています。まあそれでも自治会館が使用可能かどうか・・・

ちなみに関東大震災時の堺村（相原＋小山）地区では全壊237棟、半壊290棟とのこと。人口や構造物の違いがあるので参考までに。また相原町根岸付近では土砂崩壊（がけ崩れ？山崩れ？）が発

生している。関東大震災は震度6とされているが、当時は震度6までした基準が無く、部分的（東京、神奈川海岸部）には震度7である。

そのような中、避難所に退避する必要がある。

震度5強＝一部家屋損傷、一部ガラス破損、石膏ボード等ひび割れ、家具家電転倒、一部火災)

震度6弱＝一部家屋倒壊、損傷、一部ガラス破損、石膏ボード等ひび割れ、家具家電転倒、一部火災)

震度6強＝擁壁崩壊、亀裂。相当数の家屋倒壊、損傷。一部ガラス破損、石膏ボード等ひび割れ大、家具家電転倒、相当数の火災) 地割れ。液状化。原発破損。

震度7＝擁壁崩壊、亀裂。のり面崩壊、切通、斜面崩壊。地割れ。液状化。相当数の家屋倒壊、損傷。ガラス破損、石膏ボード等ひび割れ大、家具家電転倒、相当数の火災)＝中越地震山古志村の被害参照

※大地震時の流れ

0. 【■大地震発生！！■】＝震度6弱～6強以上

1. 自身、家族の状況把握 ■消火 自身及び家族の救助+手当→通報(救急+近隣)→●救急通報不可時の対応は？

2. 自宅の状況把握

3. 自宅の安全確保(火の確認、ガス栓閉「都市ガス、プロパン」、停電時はブレーカー断、灯油類閉、転倒が無いかな?)

4. ご近所の状況確認(ここが問題ですね。) ▲黄色旗掲示▲

5. 近隣救助、負傷者の手当(救急+近隣)

→●救急通報不可時の対応は？ 負傷者搬送手段は？

→●自動車は使用不可。どこへ搬送するのか？避難所か病院の二択。確認手段は？誰に？

→●会館にあった【AED】は、なぜ廃止したのか？

6. 火災発生時の対応は？

小規模火災は「必ず発生する」と考えた方が無難。大規模火災発生時は放置するしかない。そもそも消火栓、水道は使用不可と推察します。これは、配管断裂+ポンプ場破損+停電による配水ポンプ停止によるものです。小規模火災時に消火器などを使用し、いかに鎮火させるかにかかってきます。初期段階で消防署+消防団は対応出来ないと考えます。各地区(2箇所?)にある貯水槽が無事(漏水していなければ)であれば、貯水を使用し消火可能です。しかしながら電動ポンプは使用不可(停電)であり、エンジン式ポンプが手元にあるのかがポイントです。丸山団地にあるポンプはどうだったか？またその燃料補給体制確立が必須。これを自治体内で実行する必要があります。しかも消防、理事、班長達が不在であることを前提に対応することが必要です。ちなみにたてまえ上は消火栓、貯水槽は誰でも使用可能です。●たしかエンジン付きの可搬消防ポンプがあったはずです。

6. 情報収集(大地震時は、電話 メール ネットは使用できないと考えた方が無難)

●ラジオ＋バッテリーTV？ 接続可能なSNS等（接続不可と考える方が無難）。市や救急と直接送受信可能な無線（バッテリーによる通信可能品整備？）こんな無線はあるのか？多分無い。衛星電話を整備する手もあるが、高額です。（本体10万～7万程度、月額5千円程度＋通話料1分300円～400円程度）

市や近隣自治体と情報収集連携

（市役所、丸山、中村等＝誰がやるの？担当理事役員班長が不在時＝帰宅難民＋負傷＋死亡時等の対応は？ その連絡手段は？）

7. 防災無線は一方通行

非常時に本当に案内放送が使用可能か？バッテリーはあるのか？どの程度もつのか？

8. どの段階で避難するのか？

誰に確認するのか？ 避難所の状況は？ 避難可能なのか？

9. 自治会館での対応は誰が実施するのか？ 会館の安全確認、発電機、飲料水、食料。

10. 会館プロパンガスの開栓（大地震時には自動的に閉栓する）は誰が対応できるのか？

11. 非常回覧の対応は？ネット環境は使用不可！掲示板か？

12. 理事、班長とも不在（帰宅できない、負傷、死亡等）の場合あり。

13. 当面の代行は誰が実施するのか？

14. 非常トイレはどうするのか？

マンホールトイレ「下水利用」は、使用不能【停電によるポンプ停止、ポンプ破損、配管断裂】になると考える方が無難

15. 上水道も使用不可。【ポンプ破損、停電、浄水場破損。送水管断裂等】

備蓄の水配布はどうするのか？避難所（相原小）から重い水を運ぶのか？スポーツ広場まで給水車を呼べるのか？誰がどこと（市？）交渉するのか？

②水害（大規模浸水 床下床上 道路冠水＝丸山団地では発生確率は低い）

部分的な浸水は発生するが、傾斜地が多いので大規模浸水は想定されないと考える。陽田川へ通じる水路（団地北面下）は、畑地での崩壊や越水により、過去にも水害が発生している。これにより駅へ通じる畑道が一部通行不能となりました。発生地点は丸山団地外ですが、水路が土砂崩落により遮断された時は、丸山団地近辺まで増水していました。

丸山団地では下水（道路側溝）と道路損傷（未舗装だったため）が大きい被害でした。埋設配管の詰まりも発生しています。その後の改修により被害発生は減少していますが、側溝マス部等の越水は一部発生する場合があります。

③土砂崩れ（家屋被害、道路遮断）

過去に発生した最大の被害はパンダ公園がある地区です。ここは過去谷戸だった地区です。一時期は田圃として耕作していました。水源は清水を利用。簡易的な土留め（木杭と竹網を使用）しかなく、耕作しなくなってから大雨時部分的に崩れていました。ここが大規模に崩落し、家の床下まで達した被害がありました。土留め工事、調整池設置、盛り土にて復旧。その後造成しました。

自治会館から小学校へ通じる道路（1班の付近）も崩落し、鉄骨で修復していたはずです。

水害に関しては部分的である可能性が高いため、丸山団地自治会においては都度対応で良しとする？

④暴風、竜巻発生による被害

房総半島などにおいて台風による暴風により家屋屋根への被害発生。電柱倒壊、電線切断等による長期停電等が発生しています。

過去丸山団地でも台風により屋根が飛んだ（南斜面）、瓦が剥がれた等の被害が発生しています。また台風による停電は複数回発生（長期ではない）しています。窓ガラス損傷や、庭木転倒も発生しています。

最大の問題は長期停電時の対応でしょう。

出来ることは限られますが・・・発電機による各種充電可能バッテリーへの充電対応程度かな？

風水害に関しては部分的である可能性が高いため、丸山団地自治会においては都度対応で良しとする？

⑤通常火災（地震による火災を除く）

過去数件発生しています。同時多発することは無く、個人消火、消防による通常消火にて対応。

※これらから以下のようなことが想定、対応策協議が必要と思われます。

1. 緊急対応は大規模地震発生時を想定
2. 担当理事や役員が不在時の対応方法策定
各担当者は、帰宅難民となり帰宅できない可能性が高い。
3. 避難所の状況把握方法（徒歩、自転車か？）
小学校へ避難所開設、運営、避難道路の確認に行く必要があります。
4. 情報伝達担当（誰がやるのか、不在時の対応）
前年度、前々年度の理事役員が当面補完する等

5. 情報伝達方法（情報機器は使用不可）なので、掲示板＋拡声器による巡回等
回覧板は不在者もいるため使用出来ないと考えます。電柱倒壊等の道路通行不能も考慮し、
複数個所の掲示板へ掲示必須。

丸山団地自治会会員への周知（代替担当者のこと、掲示板に情報を出すこと等）必要。

6. 貯水槽を使用した消火訓練（毎年必要と考えます。）

7. 緊急用トイレに関すること。

マンホールトイレは下水使用不可となるので、各家庭で非常トイレの購入を促す。自治会として
も一定数装備したい。

8. 非常用発電機の追加購入が必要か？

カセット式ガスボンベを使用するタイプを複数用意したい。

カセット式ガスボンベの使用期限は6～7年程度です。

現在あるガソリン発電機は継続使用とし、3年間保管可能な缶詰ガソリンを保有することがお
勧めです。

9. 自治会館が無事な場合、プロパンガスの開栓が必要です。開栓方法を理事役員は確認しましょう。

10. 長期間の停電が推察されます。ブレーカー位置を理事役員は確認しましょう。

11. 電話不通により救急車搬送不可。救急連絡が出来ても道路損壊により救急車到着不能。

救急依頼多数により救急車対応が大幅に遅れること等が推察されます。

歩行困難な怪我人、病人等の退避困難者をどのように避難所（相原小）、または病院まで送り
届けるのか？

各所で電柱倒壊、路面隆起、陥没等で自動車使用は難しい。

避難所まで自動車通行可能であれば、避難するほどの地震では無いと推察できます。

幹線道路（国道16号、町田街道等）は大地震発生直後大渋滞発生。

その後一般車通行禁止となります。

また、相原付近の境川の小橋は崩落する可能性が高いです。

- 12.

